

授業の充実による体力の向上

～教材・教具・指導法の工夫を通して～

テーマ	授業の充実による体力向上		
全校生徒数	93名(男子47名 女子46名)		
全クラス数	4	教職員数	15名(内体育科1名)
体育推進教員名		小野 勇志	

大分県豊後大野市立緒方中学校

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆2年男女・3年男女の「20mシャトルラン」が全国平均以下である。

2 取組の計画

- (1) 体育授業の充実
- (2) 校内体制の充実
- (3) 生徒会、部活動との連携

Do：実践内容

1 体育授業の充実

(1) ユニバーサルデザインの授業を展開する [図1・2]

- ①「本時の流れ」を掲示する
- ②「目標」や「ポイント」を明確にする
- ③視覚的にとらえやすい教具を使う

(2) 単元を貫く学習カードを工夫する [図3]

- ①単元に1枚を原則とする
- ②運動量の確保を行う
- ③学習の流れと自己評価をリンクさせる

(3) Ipad を活用する [図4]

- ①チーム練習の補助として活用する
- ②練習方法を選択する際の見本とする
- ③学級、学年を越えて動画を参考にできる

2 校内体制の充実

(1) 全校体制で体育的行事を運営する [図5]

- ①市陸上大会 (6月)
- ②体育大会 (9月)
- ③強歩大会 (12月)

(2) 小中連携合同部会「生活体力向上班」の活動

- ①合同部会を開催する (年3回)
- ②連携して取組む活動を検討する

3 生徒会、部活動との連携

(1) 保体部主導「スポレクタイム」の実施 [図6]

- ①月2回、昼休みに実施する
- ②準備、運営は保体部が行う

(2) 全校体育の実施

- ①市陸上大会前に全校体育を実施
- ②強歩大会前に放課後ランニングの実施

(3) 朝ランニングの実施

- ①全部活動を対象に夏休み実施 (8:00～8:40)

●工夫したこと (&苦勞した点)

- ①心と体を一体としてとらえ、心の健康を目指して、保健分野にもユニバーサルデザインの授業を意識して取組んだ。[図7・8]
- ②学習カードの評価項目に、重点的評価項目を明記した。
- ③学校評価の重点目標にも体力向上を掲げ(「めあて」「課題」の設定、学びを実感させる適切な「振り返り」や「まとめ」)を体育分野でも意識して取組んだ。
- ④校内互見授業や事務所訪問時などで、積極的に授業をした。
- ⑤中堅研「教科研究」でも、教科の充実を図った。
- ⑥小学校との連携した取組の充実を図りたい。
- ⑦保護者への広報活動を行いたい。

Check：取組の成果

- ①体育の授業を充実させることで、運動への愛好度が「92%」を越えた。
- ②2年男女、3年男子で「20mシャトルラン」が全国平均を越えた。
- ③全校体育を実施することで、3年生の姿を下級生に見せることができ、上級生の授業を見本とすることができた。
- ④「振り返り」「まとめ」を必ず位置付けることで、次への意欲を持たせることができた。
- ⑤単元を貫く学習カードの実践を中堅研や市体育主任会なので発表し、参考にさせていただいた。
- ⑥体育授業の充実が学級経営に反映された。

Action：今後の課題

- ①視聴覚機器の活用法を増やしたい。
- ②校内研修で全職員での研究をさらにすすめる。
- ③体育授業の取組をすべての教科に反映させたい。
- ④小学校との連携した取組の充実を図りたい。
- ⑤保護者への広報活動を行いたい。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

- ①授業で体力向上を目指した結果、授業を充実させることができた。
- ②生徒の苦手意識が高い長距離走などの単元でも、自分で目標を立てさせることで、意欲を持たせて授業に取り組むことができた。

